

平田ロータリークラブ 週報

発行日 毎週木曜日

平成18年 8月24日

No.1576

率先しよう

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド
第2690地区ガバナー 新宮 彦助

△事務局▽
島根県出雲市平田町2280-1
平田商工会議所2F TEL 0853-63-3232
FAX 0853-63-5365
A.M. 9:00 ~ P.M.5:00 土・日曜・祝祭日休局
E-mail hiratarc@web-sanin.co.jp

会長 加藤喜久 副会長 田中久雄
幹事 荒木 貫 会計 金田卓也

例会プログラム

例 会	卓 話 者	演 題
第1576回	会員 原 孝士	囲碁の歴史
第1577回	(株)新出雲ウインドファーム 技術担当部長 土屋 昇様	新出雲風力発電事業と地球温暖化問題
第1578回	会員 伊藤義徳	家庭菜園の楽しみ

出席報告

会 員 数	出 席 者 数	欠 席 者 数	出 席 率	前 回 補 正 率
49	39	10 (1)	81.25	100

欠 席 者 荒木・黒田・飯塚大・石橋・吾郷・平野・名原・園山・堀江(森山)
M U 8/11大島卓・原光・黒田(出雲南)・8/23高砂・黒田・大島卓(大社)

幹事報告

1. ガバナー新宮彦助様・地区幹事宮岡博就様より公式訪問のお礼状を頂きました。
2. IM(4/23 益田開催)の報告書を頂きました。
3. ひらたCATV開局一周年記念講演会のご案内 } 入場無料 先着500名
日時 9/9(土) 14:00開場 15:00開演
場所 出雲市立平田文化館 プラタナスホール
4. 岡山RC 折田薫三様より「ロータリー賛歌」(ロータリーについての小冊子)をいただきました。
5. 地区大会の参加者を再度募ります。ご希望の方は事務局まで。

スマイル

木佐 100万ドルの食事、ありがとうございました。
加藤喜 会議のため早退致します。
田中浩 先般の納涼会で一畑の杜コンサートに過分なカンパをありがとうございました。28日の本番まで、後数日でチケットが残り少なくなっています。御来場希望がありましたら、田中までお願いします。
杉原 会長のお話から昔を思い出して。
加藤昇 9/9(土)ひらたCATV一周年記念講演を開催します。NHKの松平氏をお招きしますので、メンバー各位多数お出掛け下さいませ。お世話になります。
牧野 7/18男の孫が生まれました。ありがとうございました。
園 隠岐の島に、産婦人科の先生がこの秋より来られますよう。
高砂 補正で100%達成出来ました。

9月7日例会受付当番 土江 昭 壱 ・ 榎 野 良 文 ・ 松 浦 誠

- | | | |
|-----------------|----------------|-----------------|
| ★松江南クラブ(月) 8/28 | ★出雲クラブ(火) | ★平田RAC(第1・3水) |
| ★出雲中央クラブ(月) | ★松江クラブ(水) 8/30 | ★松江東クラブ(木) 8/31 |
| ★松江しんじ湖(火) 8/29 | ★大社クラブ(水) | ★出雲南クラブ(金) |

副会長挨拶

明治から大正にかけて今の平田コミュニティーセンター附近は教育ゾーンであった。

明治5年藩政時代の郡役所に平田小学が出来た。先生達は雨森精翁の門人達、生徒数2百余名で県下初の小学校であり、そして明治20年に新しく小学校が完成した。それは昭和9年まで建って居た。写真に残る小学校がそれである。現在はその学校舎を御茶屋町校舎と呼んで居る。又、明治44年にその御茶屋町校舎に並んで平田幼稚園も出来、7年後には現在の平田高校の前身である平田農学校が出来た。平田農学校は昭和23年島根県立平田高等学校になるまで5回位校名が変わった。通称大舎校舎と呼び45年間建って居た。その間最大の出来事は太平洋戦争が終わる一年前、学徒動員令が下り上級生徒の男子は北海道へ食糧増産女子は呉の海軍工廠へ軍用飛行機エンジン組立へと母校を後にした。壮行式での校長の激励の訓辞は目に涙が光って居た。他の生徒は平田製糸、マッチ工場、出雲鐘紡、郡是工場等へ。

又斐伊川の廃川地へ農作業へと「米英撃滅」「一億火の玉」をたたき込まれた。平田高校は今年創立90周年を迎える。卒業生13,500名、学徒動員と女子挺身隊出動令は平田高校史上で最大の悲劇である。

スピーチ

囲碁の歴史

会員 原 孝 士

1. 囲碁の誕生

今から四千年以上も昔、中国で発明されたと伝えられています。しかし、これを裏付ける証拠はありません。歴史上の文献に登場するのは、紀元前7～6世紀の前漢時代に司馬遷によって編纂された「史記」と孔子の教えを弟子達が集めた「論語」の中に登場します。当時、碁は娯楽というよりは、むしろ天文地象の占いや兵法の研究のために用いられる事が多かったようです。また、碁盤の大きさは15路盤や17路盤が主流でした。ゲームとしての囲碁ルールが完成し、19路盤になったのは唐の時代だとされています。

2. 日本への伝来と普及

5世紀ごろ、朝鮮半島を経て日本に伝わり、やがて貴族や僧侶の間で流行りました。平安時代に書かれた「枕草子」や「源氏物語」には囲碁がたびたび登場します。その内容がかなり専門的なものであることから、清少納言も紫式部も強かったと思われれます。鎌倉時代には武士に広がり、室町時代に入ってようやく一般庶民に普及したようです。町に碁会所が出来、囲碁用語の「シチョウ」「セキ」「コスミ」などが出来ました。

3. 本因坊

戦国時代の武将は、戦略戦術の研究用に、あるいは社交の手段として、囲碁を愛好したようです。武田信玄、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康など、いずれもかなりな打ち手だったようです。かの本能寺の変の晩も、当時随一の打ち手であった、僧日海を招いて碁会を開いていました。家康は晩年囲碁に熱中し、學術振興策の一環として囲碁を奨励し、家元制度を作りました。日海が一番強かったので、彼が住んでいた京都寂光寺の塔頭の名前を取って、碁界のトップを「本因坊」と呼びます。日海が初代本因坊算砂を名乗りました。

4. 現代の囲碁界

明治維新とともに家元制度は廃止され、一般の職業としてプロ棋士が誕生しました。新聞社がスポンサーとなり、現在ではテレビ局もスポンサーです。タイトルは本因坊の他、名人、棋聖、碁聖、十段など、いろいろあります。